

真夏の激坂に戦いを挑んだ263人

第3回ヒルクライムチャレンジシリーズ

葦崎甘利山大会

- コース 御勅使公園自由広場～甘利山広河原駐車場
- 距離 16.5Km (計測部分 11.7Km)
- 出走者 263名
- 完走者 256名 (完走率 97.3%)





7月27日、真夏の甘利山を舞台に、第3回ヒルクライムチャレンジシリーズ葦崎甘利山大会が開催されました。

全国から集まった、263名のサイクリストが午前8時の号砲とともに山頂のゴールを目指して走りだし、さんさんと降り注ぐ真夏の太陽と平均勾配9.6%の全国屈指の難コースが行く手を阻むなか、参加者は懸命にペダルを漕ぎ、自分自身の目標と可能性に挑戦していました。

また、3回目の開催ということで、リピーターの参加も多い大会でしたが、レベルや年齢に応じた豊富なカテゴリーや、達成感のある激坂コースがその理由のようで、地元の方々のボランティアや温かい声援を背に、今後ますます成長していくような予感がする大会となりました。

真夏の激坂を制し、菅原さん初優勝!!

今大会には、県内はもとより、全国各地の小学生から60代までの男女263名が参加し、全長11.7キロ（計測区間）、標高差1146メートル、最大勾配13.5%の日本屈指の上級者コースで健脚を競い合いました。

甘利山コースの最大の特徴は、計測区間のスタートからいきなり激坂区間が待ち受けていることで、その後も平均勾配9.6%の斜面が延々と続くところですが、選手たちは顔を歪めながらも、ダンシング（立ちこぎ）やシフトチェンジ等を駆使して懸命に山頂のゴールを目指して走っていました。

一方で高原特有の大自然を感じられるコースということもあり、夏を彩る木々が、選手の皆さんを応援しているかのようで、苦しいなかにも心地よさを感じて走っている姿がとても印象的でした。

また、ゴール地点では、「下界」との気温差がマイナス10度と過ごしやすく、ゴール後は高原の爽やかな空気で疲れたいを癒していました。

今大会では256名が無事完走するなか、神奈川県の菅原隆吾選手が47分23秒のタイムで総合優勝に輝き、表彰式終了後には、早くも来年へのリベンジを誓う参加者の姿もみられました。



燦々と降り注ぐ真夏の太陽と平均斜度 9.6%の激坂に挑む選手たち（標高 1000 m付近）



給水スタッフから水を受け取る選手（栗平給水ポイント）

天然水でほてった体をクールダウン!!

今大会は寒冷な気候や落ち葉など、選手に与える負担を考慮し開催時期を11月から7月に変更して実施したことから、大会運営事務局では当初から、気温の上昇に伴う熱中症への対策に万全を期してきました。そのひとつがコース内に設置した3箇所の給水所です。

これについては、今回、サントリー食品インターナショナル（株）の協賛により、南アルプスの天然水を無償でご提供いただいたことで、給水所の設置が実現しました。

選手の皆さんには大変好評で、こつしたことから、熱中症等になる選手もなく、安全な大会運営ができました。

大会公式記録（総合順位） ※ 敬称略

順位	氏名	記録
1位	菅原隆吾 神奈川県	47分23秒 756
2位	今井恭平 長野県	48分25秒 224
3位	野口悠真 東京都	49分32秒 753
4位	高木紀和 神奈川県	50分02秒 159
5位	塚本 淳 長野県	50分07秒 170
6位	雨宮耕基 山梨県	50分41秒 415
7位	石田正義 静岡県	50分59秒 657
8位	田平岳史 東京都	51分24秒 771

女子の部チャンピオン



清水朋美さん
タイム 1時間 19分 10秒

夏開催ということで不安もあり、またコースもきつかったけれど、楽しく走れたレースでした。また、昨年の大会は2位（女子の部）でしたので、今回、優勝できてとてもうれしいです。

総合チャンピオン



菅原隆吾さん
タイム 47分 23秒

暑い中でのレースでしたが、コースから見える景色もよく、とても気持ちよく走れました。暑かったためかベストタイムは出せませんでしたが、優勝できてほっとしています。



自己ベスト更新か？（レース記録を確認する選手たち）

完走を果たした選手の皆さんにインタビュー
激アツ! 激坂! の甘利山制覇
おめでとうございます!



アットホームな感じで
いいですね

立川満さん (東京)

他の大会のようにピリピリした雰囲気もなく、アットホームな感じが良いですね。給水所などのサービスも嬉しかったです。



来年はチャンピオンジャージを着るぞ!

森大地さん (東京) 小川翔さん (山梨)
雨宮耕基さん (山梨) 今井裕一さん (山梨)
今井竜平さん (山梨) (* 左から)

高校時代の自転車仲間みんなで参加しました。とても厳しいコースでしたが、全員で完走できてよかったです。ガチで優勝をねらっていましたが、総合6位という結果で少し残念です。来年こそは優勝をねらいます! (雨宮耕基さん)



地元の方々の応援が
パワーになりました!

戸田寛幸さん (愛知) 箭内秀平さん (東京)
一条厚さん (東京) (* 左から)

暑かったけど、水も美味しく最高でした。沿道で応援してくれた地元の方々の手ぶりがパワーになりました。

* 3人は聴覚障がい者のスポーツの祭典デフリンピック自転車競技の日本代表選手です。「今後はアジア大会や次回のデフリンピックに向けて頑張る」とのことで、みんなで応援しましょう!

飯野正紀さん (山梨)

第1回大会から続けて出場しています。今年は夏開催ということで、正直いって暑さが厳しかったですが、ゴールしてからのスイカやレモンライス、梅干等のおもてなしがとても良かったです。



おもてなしが
良かったですね!



夏休みの工作ができちゃった! (親子木工教室)



将来はヒルクライマー!?(ちびっこ自転車レース)



B級グルメの屋台も出店

選手以外も楽しめる!?
大会を盛り上げるイベント